

評価項目一覧表(目次)

【基本目標1】市民一人ひとりの個性を大切に、生涯にわたる自主的な学習を支える図書館	自己	第三者	頁
1 市民のニーズに応える蔵書構築を目指します			
1 資料の充実	A	A	6
2 各図書館の機能分担の明確化	A		6
2 各世代の成長過程に配慮したサービスを行います			
1 乳幼児サービスの充実	A	B	7
2 児童サービスの充実	A		7
3 青少年(ヤングアダルト)サービスの充実	B		7
4 高齢者サービスの充実	B		7
3 視聴覚資料の充実を図ります			
1 聴覚資料の充実	A	A	8
2 映像資料の充実	A		8
4 現在の図書館サービスでは十分対応できない人へのサービスの充実を図ります			
1 多文化サービスの充実(1-1-1)で回答	/	C	9
2 障害者サービスの充実	C	C	9
3 来館が困難な人へのサービスの充実	C		9
5 市民と市民をつなぐ活動を積極的に行います			
1 市民文化活動の拠点	A	A	10
2 読書会や作者との交流会などの開催	A		10
6 西多摩の市町村との連携を継続します			
1 西多摩の図書館との広域利用や昭島市との相互利用の継続	B	B	10
【基本目標2】市民が利用しやすい快適な空間のある図書館			
7 どこに住んでいても図書館サービスを受けられる体制を目指します			
1 図書館から離れた地域への対策や利便性を考えた図書館の配置	-	B	11
2 駅などへのブックポストの設置	A		11
3 福祉バスの停留所を中央図書館付近に設置	-		11
8 より利用しやすい快適な図書館を目指します			
1 読書ができる空間の工夫	-	C	12
2 「読書・学習コーナー」の設置	B		12
3 分かりやすい案内や掲示の推進	-		12
4 中央図書館のエントランスの工夫	A		12
5 利用しやすい開館日時	-		12
9 より安全で安心して利用できる図書館を目指します			
1 震災対策を推進	A	A	13
2 学習室、児童室、トイレなどの安全確保	A		13
3 中央図書館施設の維持管理	A		13
【基本目標3】市民の課題解決に役立つ図書館			
10 暮らしや仕事、地域の課題解決に役立つ図書館を目指します			
1 相談業務(レファレンス・サービス)の充実	A	A	14
2 市民生活で必要とする資料・情報の収集と提供(1-1-1)で回答	/		14
3 起業等の支援	A		14
4 就職、転職、職業能力開発等の資料・情報の収集と提供	A		14

【基本目標3】市民の課題解決に役立つ図書館	自己	第三者	頁
11 情報通信技術を活用し、市民の課題解決に役立つ図書館を目指します			
1 情報通信技術を活用した図書館サービスの充実	A	A	15
2 デジタル資料の充実	A		15
3 商用データベースの活用	C		15
4 インターネット講座の開催	A		15
5 ホームページの充実	A		15
6 パソコン利用環境の確保	A		15
【基本目標4】家庭・地域・学校の教育力の向上を支え、読書の大切さを発信する図書館			
12 図書館は市内の各種機関と協働を進めることで、家庭・地域・学校の教育力の向上を支援します			
1 学校教育への支援を推進	C	A	16
2 学校司書と連携し学校図書館の充実	A		16
3 保育所、幼稚園、学童クラブ、児童館などとの連携	A		16
4 病院との連携	A	B	17
5 公民館やその利用団体との連携	A		17
6 高齢者施設との連携	C		17
13 図書館は市民との協働を進めることで、家庭・地域の教育力の向上を支援します			
1 おはなしボランティアとの協働を推進	A	A	18
2 おはなしボランティアグループのネットワーク化を推進	A		18
3 視力障害がある人を対象にしたボランティアとの協働を推進(1-4-2)で回答	/		18
4 宅配サービスを推進(1-4-3)で回答	/		18
14 家庭・地域・学校に読書の大切さを発信します			
1 おはなしボランティアグループと協働で読書の大切さを発信	A	A	19
2 読書に関係するグループや事業所などとの連携	A		19
3 学校への広報活動の推進	A		19
4 図書館の利用を広げるための広報活動の推進	A		20
【基本目標5】地域資料の充実を図り、地域文化の継承と創造に寄与する図書館			
15 デジタル資料を含めた地域資料の収集と提供を進めます			
1 福生市に関する資料の収集の徹底(1-1-1)で回答	/	B	21
2 地域に関する資料のデジタル化の推進(3-11-2)で回答	/		21
3 地域資料の調査・研究の相談、支援の充実	C		21
16 行政機関・議会への資料・情報提供を進めます			
1 行政機関サービスの充実	C	B	22
2 議会図書室との連携・協力	C		22
【基本目標6】長期的な視点にたった図書館運営を行い成長する図書館			
1 「福生市人材育成基本方針」に基づく専門的職員の育成	C	A	23
2 職員の内外の研修への参加	A		23
3 図書館運営の自己点検・評価の実施	A		23
4 図書館協議会等による第三者評価の実施	A		23
5 市民への公表	A		23
成果指標			24

【凡例】評価基準 A:計画通り実施し、一定の成果があった。
 B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。
 C:不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -:次年度以降計画予定。

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A: 計画通り実施し、一定の成果があった。 B: 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。

C: 不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -: 次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成28年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
【基本目標1】市民一人ひとりの個性を大切に、生涯にわたる自主的な学習を支える図書館									
1 市民ニーズに応える蔵書構築を目指します									
		1 資料の充実	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・多文化コーナーの資料を充実させる。 [指標] 多言語資料の受入冊数 [目標値] 前年度比5%増(49冊) [参考] 平成27年度 47冊 所蔵冊数 1,839冊 ・分類「民法」「社会福祉」「教育」「医学」「家政学」「スポーツ」の蔵書を重点的に収集する。 [指標] 指定分野の蔵書の受入冊数 [目標値] 前年度比3%増(2,252冊) [参考] 平成27年度 2,186冊 所蔵冊数 44,851冊 ・福生市に関する資料を充実させる。 [指標] 福生市に関する資料の総冊数(分館も含む) [目標値] 前年度比5%増(12,372冊) [参考] 平成27年度 11,783冊 	数値	<p>[多言語資料の受入冊数] 204冊 【目標達成率】416.3% <図書館コメント> 平成28年度は書店での選書を実施したため、目標値を達成することができた。</p> <p>[指定分野の蔵書の受入冊数] 2,327冊 【目標達成率】103.3% [参考] 所蔵冊数 45,141冊 <図書館コメント> 重点的な購入に努め、目標値を達成することができた。</p> <p>[福生市に関する資料の総冊数(分館も含む)] 12,407冊 【目標達成率】100.3% <図書館コメント> 積極的な受入に努め、目標値を達成することができた。</p>	A	A	<p>事業目標について数値目標を全体として達成できたことは評価できます。「多言語資料の受入冊数」については、目標達成率が416.3%と突出していますので、購入計画に基づく選書が必要です。</p> <p>【意見】多言語資料の受入冊数は利用率に即しているか懸念されます。また、魅力ある蔵書構築にするためには、各分野のバランスが大切です。専門分野の選書においては、専門家のアドバイスを求めることが考えられます。「資料の充実」については、蔵書構築に対する図書館の考え方を明確にすることが必要です。また、指定分野の中に、環境問題を加えることを検討してください。「暮らしのサポートコーナー」の貸出冊数が増えた理由が、「わかたけニュース」の発行によるものである根拠を示す必要があります。各分館の発行物をウェブサイト上で見られるようにしてください。「各図書館の機能分担の明確化」については、中央図書館と武蔵野台図書館の機能についても示す必要があります。</p>
		2 各図書館の機能分担の明確化	新規	<ul style="list-style-type: none"> ・わかたけ図書館「暮らしのサポートコーナー」の貸出冊数を増加させる。 [指標] 貸出冊数 [目標値] 前年度比5%増(1,892冊) [参考] 平成27年度 1,802冊 	数値	<p>[貸出冊数] 2,065冊 【目標達成率】109.1% <図書館コメント> 当該コーナーの図書の充実を図るとともに、「わかたけニュース」を定期的に発行しPRを図ったことにより、目標値を達成することができた。</p>	A		

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A: 計画通り実施し、一定の成果があった。 B: 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。

C: 不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -: 次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成28年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
【基本目標1】市民一人ひとりの個性を大切に、生涯にわたる自主的な学習を支える図書館									
2 各世代の成長過程に配慮したサービスを行います									
		1 乳幼児サービスの充実	新規	・乳幼児タイムを設けることを検討し、年度内に実施する。 [指標] 乳幼児タイムの実施	記述	[乳幼児タイムの実施] 中央図書館 20回 わかぎり図書館 21回 わかたけ図書館 20回 武蔵野台図書館 21回 平成28年11月より、各館週一回実施している。読書相談等にも応じることで、乳幼児を連れの方が利用しやすい環境づくりに努めている。	A		「乳幼児サービスの充実」では乳幼児タイムを始めたことはよかったですと考えます。この指標に参加人数も併記すべきです。「児童サービスの充実」の指標である登録率は微増ですが、登録小学生の実数は減っていますから、評価は「B」が相当と考えます。このことを加味し、ここでの第三者評価を「B」とします。更なる対応策の検討が求められます。
		2 児童サービスの充実	継続	・夏休み読書推進イベントのスタンプカードなど児童に読書の楽しみを伝える各種イベントを開催し、児童の利用回数を高める。 [指標] 市内小学生の登録率 [目標値] 前年度比3%増(56.4%) [参考] 平成27年度 54.8%(登録小学生数 1,336人 全児童数 2,437人)	数値	[市内小学生の登録率] 54.9%(登録小学生数1,312人 全児童数2,389人) 【目標達成率】97.3% <図書館コメント> 目標には達しなかったが、登録率は微増した。今後も積極的なPRを行い、利用を呼びかける。	A	B	【意見】市内小学生の登録率を上げるために、1年生に配布している図書館案内リーフレットに登録用紙を合わせて配布することを求めます。図書館が児童の学習のサポートをしてくれる場所であることの周知を図るとよいでしょう。「ブックトーク等の読書活動の実施」については学校司書教諭と学校司書との連携が求められます。学校の年間行事予定に組み込んでもらえるように働きかけるのも一案です。読書活動推進校の設定を考えるのもよいでしょう。「ブックトーク等」とあるように、ブックトーク以外の多様な方法を検討することが必要です。「高齢者サービスの充実」については、更なるPR活動による周知が求められます。具体的には、敬老の日に合わせて広報紙面で、福祉まつりに合わせて出張展示、福祉バスでの広報などが考えられます。
		3 青少年(ヤングアダルト)サービスの充実	継続	・ブックトーク等の読書活動の実施について、学校に働きかける。	記述	ブックトーク未実施の市内中学校を対象にブックトークの実施を呼びかけた。新たな実施校はなかったが、今後も継続して呼びかけを行い、実施につなげていく。	B		
		4 高齢者サービスの充実	拡充	・大活字本の貸出冊数を増加させる。 [指標] 貸出冊数 [目標値] 前年度比5%増(1,486冊) [参考] 平成27年度 1,415冊	数値	[貸出冊数] 1,286冊 【目標達成率】86.5% <図書館コメント> 全館にて大活字本の展示などPRを行ったが、目標達成には至らなかった。展示方法やPRについて更に検討を行う。	B		

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A: 計画通り実施し、一定の成果があった。 B: 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。

C: 不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -: 次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成28年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
【基本目標1】市民一人ひとりの個性を大切に、生涯にわたる自主的な学習を支える図書館									
3 視聴覚資料の充実を図ります									
		1 聴覚資料の充実	継続	・CDの購入を年複数回実施する。 [指標] CDの購入回数 [目標値] 前年度と同程度 [参考] 平成27年度 2回(貸出点数 27,024点) 購入点数 1回目 123点 2回目 79点 合計 202点	数値	[CDの購入回数] 3回(貸出点数 24,746点) 購入点数 1回目 138点 2回目 93点 3回目 34点 合計 265点 【目標達成率】150% <図書館コメント> 年3回の購入を実施した。今後も年複数回の購入を継続し、幅広い種類の資料選定に努めることで、聴覚資料の充実を図る。	A	A	「聴覚資料の充実」では、年3回実施し、265点を購入しました。「映像資料の充実」では、目標どおり実施し、107点を購入しました。ともに、目標値を達成しました。 【意見】CD、DVDとも貸出点数が減少しています。個人情報機器スマートフォンなどの普及により、視聴覚資料を借りない傾向が出てきた可能性があります。平成30年度までの目標所蔵点数について本当に必要かどうか、社会状況に応じて柔軟に考えていく必要があります。DVDについては、娯楽作品に限らず教養、教育、美術、工芸、動物の生態など幅広い分野から映像資料を収集することが必要と考えます。
		2 映像資料の充実	拡充	・DVDの購入回数を増加させる。 [指標] DVDの購入回数 [目標値] 3回 [参考] 平成27年度 2回(貸出点数 9,078点) 購入点数 1回目 54点 2回目 29点 合計 83点	数値	[DVDの購入回数] 3回(貸出点数 8,825点) 購入点数 1回目 72点 2回目 22点 3回目 13点 合計 107点 【目標達成率】100% <図書館コメント> 購入回数は達成したが、購入数が初回に偏ってしまった。今後は均等になるよう努める。	A	A	

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A: 計画通り実施し、一定の成果があった。 B: 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。

C: 不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -: 次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成28年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
【基本目標1】市民一人ひとりの個性を大切に、生涯にわたる自主的な学習を支える図書館									
4 現在の図書館サービスでは十分対応できない人へのサービスの充実を図ります									
		1 多文化サービスの充実	継続	■基本目標1-1-1で回答(p1)					
		2 障害者サービスの充実	拡充	・対面音訳サービスのPR活動の充実を図る。 [指標] 対面音訳サービスの利用件数 [目標値] 5件 [参考] 平成27年度 対面音訳サービスの利用件数 0件	数値	[対面音訳サービスの利用件数] 0件 【目標達成率】0% 〈図書館コメント〉 バリアフリー映画上映体験会や障害者団体へのPRを行ったが、利用に至らなかった。実施方法等について更なる検討を行う。	C	C	「障害者サービスの充実」について、対面音訳サービスの利用件数が前年度に続いて0件でした。「来館が困難な人へのサービスの充実」も目標値を達成出来ませんでした。 【意見】「障害者サービスの充実」については、残念な結果になり、需要が本当にあるのか調査して、場合によっては指標を変更することも含め喫緊の検討が必要です。対面音訳サービスは、対面音訳にこだわらず、時代に即した機器を使用したサービスへの移行を速やかに検討すべきと考えます。
		3 来館が困難な人へのサービスの充実	継続	・宅配サービスを継続して実施する。 [指標] 宅配サービスの実施件数 [目標値] 105件(平成26年度件数) [参考] 平成27年度 宅配件数83件	数値	[宅配サービスの実施件数] 80件 【目標達成率】76.2% 〈図書館コメント〉 利用者事由により訪問回数が減少したため、目標達成に至らなかった。PRについて更なる検討を行う。	C	C	「来館が困難な人へのサービスの充実」については、PRが不足していると考えます。高齢人口の増加などから今後も需要のあるサービスと考えますので、HP上からも利用条件が確認出来ると良いと考えます。市役所介護福祉課や社会福祉協議会と連携して、サービスを求める人に情報が届くようにすることを検討する必要があります。

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A: 計画通り実施し、一定の成果があった。 B: 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。

C: 不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -: 次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成28年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
【基本目標1】市民一人ひとりの個性を大切に、生涯にわたる自主的な学習を支える図書館									
5 市民と市民をつなぐ活動を積極的に行います									
		1 市民文化活動の拠点	拡充	・図書館の行事のお知らせや新刊案内などの広報活動を市内 公共施設に協力依頼し、定期的に行う。 [指 標] 『武蔵野台だより』の発行回数 [目標値] 年2回	数値	[[『武蔵野台だより』の発行回数] 2回 【目標達成率】100% 〈図書館コメント〉 わかたけ図書館・わかざり図書館に続き、武蔵野台図書館でも分館だよりを発行することができた。今後も定期的な刊行に努める。	A		「市民文化活動の拠点」では、『武蔵野台だより』を発行し、目標の2回を達成しています。また、図書館読書会として「芭蕉『奥の細道』を読む」を7回開催し、目標を達成しました。 【意見】『武蔵野台だより』の発行数を『わかたけニュース』のように、年5回程度に増やす必要があります。また、各図書館の広報を図書館地域内の全町内会に配布することを望みます。 図書館が「市民の文化活動の拠点」となるためには、広報活動の他に、市民が図書館に集って活動する行事等の方策を考えることを求めます。 図書館読書会については、公民館講座と異なったものとして、市民が気楽に参加でき意見交換ができる読書会としていくべきと考えます。
		2 読書会や作者との交流会などの開催	新規	・図書館読書会を開催する。	記述	平成28年9月より、月一回、【芭蕉「奥の細道」を読む】と題して図書館読書会を7回開催した。	A	A	
6 西多摩の市町村との連携を継続します									
		1 西多摩の図書館との広域利用や昭島市との相互利用の継続	継続	・西多摩との広域利用、昭島市との相互利用の促進を図る。 [指 標] 西多摩広域利用と昭島市相互利用の貸出点数 [目標値] 前年度比3%増(137,744点) [参 考] 平成27年度 西多摩 104,131点 昭島市 29,601点 合計 133,732点 (平成27年度 福生市民の利用点数 西多摩 21,503点 昭島市 3,225点 合計 24,728点)	数値	[西多摩広域利用と昭島市相互利用の貸出点数] 西多摩 96,398点 昭島市 34,078点 合計 130,476点 【目標達成率】94.7% (福生市民の利用点数 西多摩 23,910点 昭島市 3,098点 合計 27,008点) 〈図書館コメント〉 昭島市については、平成27年度に引き続き年度当初の本館休館があったことから利用が増えたものと思われる。西多摩については、市民利用者とほぼ同じ割合で減少している。PRについて更なる検討を行う。	B	B	「西多摩広域利用と昭島市相互利用」では、昭島市の事情により貸出点数が増加していますが、西多摩広域利用では、7,733点も減少しています。この点が目標数値を達成できなかったことに繋がっていると考えられますので、引き続き努力を要するものと考えます。 【意見】福生市熊川福東公園付近は立川市西砂図書館に近く、立川市との相互利用の働きかけを検討することが考えられます。

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A:計画通り実施し、一定の成果があった。 B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。

C:不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -:次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成28年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
【基本目標2】市民が利用しやすく快適な空間のある図書館									
7 どこに住んでいても図書館サービスを受けられる体制を目指します									
		1 図書館から離れた地域への対策や利便性を考えた図書館の配置	新規	・図書館から離れている地域での本の受け渡しなど、既存の施設との協力体制を検討する。	記述	未実施		-	<p>駅返却ポストの利用は、両駅合わせて25,710冊の実績があり、「A」評価に相当します。しかし、「図書館から離れた地域への対策や利便性を考えた図書館の配置」では、取組結果が「未実施」と記述されていることから、評価は「C」が相当と考えます。このことを加味し、ここでの第三者評価を「B」とします。</p> <p>【意見】「福祉バスの停留所を中央図書館付近に設置」では、事業目標は時期未定ですが、引き続き検討することを要望します。</p>
		2 駅などへのブックポストの設置	継続	・駅返却ポストの運用を継続する。	記述	<p>[駅回収冊数]</p> <p>回収日数 307日</p> <p>拝島駅 10,252冊</p> <p>福生駅 15,458冊 合計 25,710冊(全返却点数の4.3%)</p> <p>利用について窓口やホームページで積極的なPRを行い、駅返却ポストの運用を継続した。今後も、更なる周知を図っていく。</p>	A	B	
		3 福祉バスの停留所を中央図書館付近に設置	継続	時期未定(コース見直し時に要望する。)				-	

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A:計画通り実施し、一定の成果があった。 B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。

C:不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -:次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成28年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
【基本目標2】市民が利用しやすく快適な空間のある図書館									
8 より利用しやすく快適な図書館を目指します									
		1 読書ができる空間の工夫	継続	現在の状態を継続する。				-	<p>「読書ができる空間の工夫」は、評価の対象ではありませんが、「現状の状態を維持する」ことに留めず、改善へ向けての検討が必要です。「読書・学習コーナー」の設置では、わかたけ図書館で利用が伸びていますので、中央図書館、わかぎり図書館での利用向上が求められます。中央図書館エントランスにテーブルを設置したことは評価できます。ここは入退館通路でもあり、マナーが守られるよう利用状況の把握が必要と考えます。「図書館内の案内・掲示の整備を進める」ことの結果は「未実施」ですので、評価は「C」と考えます。同様に、「中央図書館土日祝日の時間延長を検討する」ことについても、取組結果が「未検討」ですので、評価は「C」と考えます。以上のことを総合的に評価しますと評価「C」と致します。</p> <p>【意見】武蔵野台図書館にはキャレルデスクがありませんので、設置することが必要と考えます。また、キャレルデスクでの読書・学習環境は静肅性が保てるような工夫を求めます。エントランスにある「リサイクル図書」に利用している2台の書架を撤去すれば、ホール内がすっきりします。リサイクル図書は必要時にブックトラックに載せて展示すればよいと考えます。また、館内の案内・掲示類もきれいに保つような工夫を望みます。</p> <p>中央図書館の土日祝日の時間延長について、利用者アンケートを実施することを求めます。この項を全体的にみて、「現在の状態を継続する」は、事業目標として相応しくありません。また、取組結果に「未実施」「未検討」とありますが、ここではその理由を示す必要があります。</p>
		2 「読書・学習コーナー」の設置	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・キャレルデスク(個人用学習机)の利用件数を増やす。 [指標] キャレルデスクの利用件数 [目標値] 前年度比3%増(2,545件) [参考] 平成27年度 中央図書館 1,537件 わかぎり図書館 340件 わかたけ図書館 594件 合計 2,471件	数値	[キャレルデスクの利用件数] 中央図書館 1,445件 わかぎり図書館 324件 わかたけ図書館 634件 合計 2,403件 【目標達成率】94.4% <図書館コメント> 目標には至らなかったが、今後も利用向上に努める。		B	
		3 分かりやすい案内や掲示の推進	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館内の案内・掲示の整備を進める。 	記述	未実施		-	
		4 中央図書館のエントランスの工夫	新規	<ul style="list-style-type: none"> ・中央図書館エントランスに飲食・休憩用の利用者用テーブルを設置することで、利便性の向上を図る。 	記述	利用者テーブル1台を設置した。利用者が軽食をとる等利用があり、利便性の向上が図れた。		A	
		5 利用しやすい開館日時	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・中央図書館土日祝日の時間延長を検討する。 	記述	未検討		-	

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A:計画通り実施し、一定の成果があった。 B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。

C:不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -:次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成28年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
【基本目標2】市民が利用しやすく快適な空間のある図書館									
9 より安全で安心して利用できる図書館を目指します									
		1 震災対策を推進	継続	・中央図書館の図書落下防止対策を検討します。	記述	高書架の図書落下防止シートの設置について検討を行った。今後も震災対策について更なる検討を行う。	A		<p>「中央図書館の図書落下防止対策」の検討を行ったとありますが、どのような結論(結果)に至ったかの記述が必要です。「館内全体の安全確保」のため、学習室への防犯カメラの設置について検討を行ったことの結果も記述が必要です。中央図書館施設の維持・管理については、3,521,664円の費用をかけて修繕を行っていますので、評価できる取組結果です。</p> <p>【意見】「今後も震災対策について更なる検討を行う」とありますので、図書落下防止に限らず、例えば天井器具の落下などにも注意を向けるよう望みます。また、館内の通路に多数の段ボールが積まれていますので、災害時の避難の妨げになり危険な状態ですので、早急に改善が必要です。また、避難訓練等は消防法で定められた基準で実施し、その中でAEDは全職員が操作できるように訓練すべきです。さまざまな危機から利用者を守るために、図書館独自の危機管理マニュアルの作成を望みます。</p>
		2 学習室、児童室、トイレなどの安全確保	継続	・館内全体の安全確保に努める。 [指標] 館内における安全確保 中央図書館2階学習室への防犯カメラの設置について検討する。	記述	[館内における安全確保] 防犯カメラについて、学習室への設置に関する検討を行った。引き続き設置に向けての検討を行っていく。	A	A	
		3 中央図書館施設の維持・管理	継続	・中央図書館施設の維持・管理に努める。 [指標] 館内利用環境の維持管理 中央図書館の館内利用環境の維持管理のため、館内見回り等により把握した必要な修繕等について、適時実施する。 [参考] 平成27年度 修繕件数 16件 修繕料 2,501,499円	記述	[館内利用環境の維持管理] 館内見回りにより把握した修繕必要箇所について、随時修繕を行った。 修繕件数 16件 修繕料 3,521,664円	A		

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A:計画通り実施し、一定の成果があった。B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。

C:不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -:次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成28年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
【基本目標3】市民の課題解決に役立つ図書館									
10 暮らしや仕事、地域の課題解決に役立つ図書館を目指します									
		1 相談業務(レファレンス・サービス)の充実	継続	<ul style="list-style-type: none"> レファレンス相談を継続して実施する。 [指標] レファレンス相談件数 [目標値] 前年度比3%増(4,920件) [参考] 平成27年度 4,777件	数値	[レファレンス相談件数] 5,194件 【目標達成率】105.6% <図書館コメント> 所蔵確認など短時間で確認可能な問合せは、カウンターで対応し、クイックレファレンス(読書相談)として件数を把握した。	A		「相談業務の充実」については、前年度同様、カウンターでの積極的な対応などで目標値を達成できたと考えます。「起業等の支援」の「ビジネスに関する資料貸出冊数」は、目標値がほぼ達成できたと考えます。また、「しごとに関する資料貸出冊数」でも、目標達成率が目標を4.4ポイント上回っています。今後も利用者のニーズに対応したきめ細かなサービスが重要と考えます。
		2 市民生活で必要とする資料・情報の収集と提供	継続	■基本目標1-1-1で回答(p1)					【意見】レファレンス件数については、分館での件数把握も必要と考えます。ビジネス支援サービスについては、市役所シティセールス推進課や市商工会、ハローワークに、このサービスを知らせるチラシなどを置いてもらい、サービスの拡充・充実をはかる必要があります。さらに、「図書館だより」等を活用してPRに努めることを求めます。学生の就職活動を支援する資料・情報提供も必要です。エントランスホールに「情報コーナー」(リサイクル書架のある位置を利用)を設置し、起業しごと支援も含め、パンフレット、チラシ等の情報提供をするよう求めます。
		3 起業等の支援	継続	<ul style="list-style-type: none"> 中央図書館ビジネスしごと支援コーナーのビジネスに関する資料(※)貸出冊数を増加させる。 [指標] ビジネスに関する資料貸出冊数 [目標値] 前年度比3%増(6,272冊) [参考] 平成27年度 6,089冊 所蔵冊数 4,423冊	数値	[ビジネスに関する資料貸出冊数] 6,271冊 【目標達成率】100%(※計算式による・数値未達成) <図書館コメント> 目標には至らなかったが、仕事関連の展示を行うことにより、貸出数の増加に繋がった。今後もPRを行い、利用増加に努める。 (所蔵冊数 4,453冊)	A		
		4 就職、転職、職業能力開発等の資料・情報の収集と提供	継続	<ul style="list-style-type: none"> 中央図書館ビジネスしごと支援コーナーのしごとに関する資料貸出冊数を増加させる。 [指標] しごとに関する資料貸出冊数 [目標値] 前年度比3%増(1,695冊) [参考] 平成27年度 1,646冊 所蔵冊数 954冊	数値	[しごとに関する資料貸出冊数] 1,771冊 【目標達成率】104.5% <図書館コメント> 仕事関連の展示を行うことにより、貸出数の増加に繋がった。今後もPRを行い、利用増加に努める。 (所蔵冊数 1,004冊)	A		

※起業、経営、労働・雇用関係、マーケティング、仕事術等の資料

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A:計画通り実施し、一定の成果があった。B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。
C:不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -:次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成28年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
【基本目標3】市民の課題解決に役立つ図書館									
11 情報通信技術を活用し、市民の課題解決に役立つ図書館を目指します									
		1 情報通信技術を活用した図書館サービスの充実	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・新着お知らせメールによる案内図書冊数を増加させる。 [指標] 案内図書冊数 [目標値] 前年度比5%増(2,343冊) [参考] 平成27年度 2,231冊	数値	[案内図書冊数] 5,797 冊 【目標達成率】247.4% ※案内図書冊数とは、新着お知らせメールで案内した資料数のことである。メール1件につき複数の資料が送信されることがある。 <図書館コメント> 平成27年度に比べて大幅に増加した。今後もPR等により、新着お知らせメールの利用増加に努める。	A	「新着お知らせメール」サービスは目標値の2.5倍の利用があり、大きな成果をあげました。引き続き利用の向上と充実に努めてください。地域資料のデジタル化は図書館の重要な仕事です。今後も継続してデジタル資料の充実に努めてください。新規配属職員へのデータベース講習は優先されるべきことと考えますので、必ず実施するよう求めます。「市民お役立ち講座」は目標値1回を達成していますが、参加が3名ではもったいないですので、参加者の増加に努めてください。引き続きホームページのアクセス数の増加に努めてください。無線LANの利用時間を拡大したことは、利用者へのサービス拡大につながりました。 【意見】OPACでの検索結果が「未所蔵」の場合は、「職員へお尋ねください。」等のメッセージを表示させ、利用者をレファレンスやリクエストへ導くようなシステム上の工夫をする必要があります。また、メールによるレファレンスサービスの検討も必要です。 ※「パソコン利用環境の確保」の事業目標、取組結果とも「1日」となっていますが、これは「1回」とすべきと考えます。	
		2 デジタル資料の充実	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資料のデジタル化を実施する。 [指標] 実施件数 [目標値] 1件 [参考] 平成27年度 未実施	数値	[実施件数] 1件 【目標達成率】100% <図書館コメント> 平成27年度に実施できなかった西多摩新聞の一部のデジタル化を実施することができた。今後もデジタル化を継続して行う。	A		
		3 商用データベースの活用	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・商用データベーススキルの向上を図る。 [指標] 商用データベースの新規配属職員向け講習会の実施 [目標値] 1件 [参考] 平成27年度 1件	数値	[商用データベースの新規配属職員向け講習会の実施] 0件 【目標達成率】0% <図書館コメント> 平成28年度は実施できなかったが、今後、未受講者を対象に講習会を実施する。	C		
		4 インターネット講座の開催	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・市民向けに、図書館お役立ち講座を開催する。 [指標] 講座の開催 [目標値] 1回 [参考] 平成27年度 1回	数値	[講座の開催] 1回 【目標達成率】100% <図書館コメント> 3名の参加があり、資料の検索方法や、商用データベースの利用方法等を紹介した。	A		
		5 ホームページの充実	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを充実させてアクセス数の向上を目指す。 [指標] アクセス件数 [目標値] 前年度比3%増(218,896件) [参考] 平成27年度 212,520件	数値	[アクセス件数] 208,083件 【目標達成率】95.1% <図書館コメント> 目標には至らなかったが、こまめな更新などにより、アクセス数の増加に努める。	A		
		6 パソコン利用環境の確保	拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・無線LANの利用時間を拡大する。 [指標] 利用環境の充実 [参考] 平成27年度 1日15分×2回まで	記述	[利用環境の充実] 平成28年度 1日60分×無制限 利用時間を拡大することができた。今後も、この水準で継続する。	A		

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A: 計画通り実施し、一定の成果があった。 B: 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。

C: 不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -: 次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成28年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
【基本目標4】家庭・地域・学校の教育力の向上を支え、読書の大切さを発信する図書館									
12 図書館は市内の各種機関と協働を進めることで、家庭・地域・学校の教育力の向上を支援します									
		1 学校教育への支援を推進	継続	・児童、生徒の調べ学習・自由研究の支援や、学校司書と連携し調べ学習支援および学校への貸出を継続する。 [指 標] 学校への調べ学習支援冊数 [目標値] 前年度比5%増(1,037冊) [参 考] 平成27年度 988冊	数値	[学校への調べ学習支援冊数] 402冊 【目標達成率】38.8% <図書館コメント> 学校図書館間の連携向上が、利用数の減に繋がったと考えている。今後も学校司書と連携し、支援を継続する。	C		「学校への調べ学習支援冊数」は、目標値に対して達成率が38.7%と大きく落ち込んでいます。この原因について、図書館では「学校図書館間の連携向上」を挙げていますが、調べ学習にインターネットが使われるようになったこともあります。今後対策を講ずる必要があります。学校司書との連携では、学校図書館への配本回数、冊数が前年度並みであり成果があったと考えます。保育所等との連携は目標達成率100%であり、成果を挙げています。(事業1から事業3までの評価は、「A」とします。) 【意見】中央図書館から借用した本が、学年によっては内容が難しいこともありますので、学校側の要望にあった資料提供が必要と考えます。学校や学校図書館との連携を密にすることを要望します。
		2 学校司書と連携し学校図書館の充実	継続	・児童、生徒の調べ学習・自由研究を支援するため、学校図書館への配本サービスを継続する。	記述	学校図書館への配本サービスを実施した。今後も支援体制を整え、サービスを継続する。 回数105回 冊数8,710冊	A		
		3 保育所、幼稚園、学童クラブ、児童館などとの連携	継続	・保育施設などへの出前おはなし会を継続して行う。 [指 標] 保育所等訪問数 [目標値] 前年度比5%増(65回) [参 考] 平成27年度 62回 保育所・幼稚園等 9回 保健センター 21回 子ども応援館 12回 学童クラブ 10回 子育てなんでも相談 9回 出前講座 1回	数値	[保育所等訪問数] 65回 【目標達成率】100% 保育所・幼稚園等 11回 保健センター 21回 子ども応援館 12回 学童クラブ 11回 子育てなんでも相談 10回 <図書館コメント> 平成27年度と比べ施設からの要望が多くあり、目標を達成することができた。今後もPRに努め、実施に繋げていく。	A		

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A: 計画通り実施し、一定の成果があった。 B: 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。

C: 不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -: 次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成28年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
【基本目標4】家庭・地域・学校の教育力の向上を支え、読書の大切さを発信する図書館									
12 図書館は市内の各種機関と協働を進めることで、家庭・地域・学校の教育力の向上を支援します									
		4 病院との連携	継続	<ul style="list-style-type: none"> 福生病院キッズルームの「みにみにとしょかん」を継続する。 [指 標] 福生病院への貸出冊数 [目標値] 前年度と同程度 [参 考] 平成27年度 413冊(年4回)	数値	[福生病院への貸出冊数] 401冊(年4回) 【目標達成率】97.1% <図書館コメント> 今後も貸出を継続し、定期的に図書の入れ替えを行う。	A		福生病院キッズルームへの貸出冊数は、「前年度と同程度」が目標値であり、ほぼ達成されています。また、公民館主催事業への資料展示も目標の5割増しとなり達成されています。高齢者施設への団体貸出については、受入側の賛意が得られなかったわけですが、いきなり団体貸出ではなく、施設へ出向いてのお話し会の実施などから進めるとよいでしょう。ここでは、全体的にみて取組実績がありますが、高齢者施設との連携の事業については不十分であり、「今後の課題が残った」と判断します。(事業4から事業6までの評価は、「B」とします。) 【意見】病院、公民館、高齢者施設などへ図書館から出向いて、お話し会を実施するなどのアウトリーチサービスが大切です。また、施設のスタッフへの支援も重視して、図書館のサービスへの理解を深められるような検討が必要です。
		5 公民館やその利用団体との連携	継続	<ul style="list-style-type: none"> 公民館主催事業資料を展示する。 [指 標] 展示回数 [目標値] 前年度と同程度 [参 考] 平成27年度 9回	数値	[展示回数] 14回 【目標達成率】155.6% <図書館コメント> 今後も継続し、公民館との連携を行う。	A	B	
		6 高齢者施設との連携	新規	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者施設にて実施可能なサービスについて検討する。 	記述	市内高齢者施設に対し大活字本等資料の団体貸出を提案したが、管理上の問題(汚損・紛失等の可能性)により実施には至らなかった。	C		

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A: 計画通り実施し、一定の成果があった。 B: 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。

C: 不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -: 次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成28年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
【基本目標4】家庭・地域・学校の教育力の向上を支え、読書の大切さを発信する図書館									
13 図書館は市民との協働を進めることで、家庭・地域の教育力の向上を支援します									
		1 おはなしボランティアとの協働を推進	継続	<ul style="list-style-type: none"> おはなしボランティアを増やす。 [指標] おはなしボランティア数 [目標値] 前年度比5%増(延べ65人) [参考] 平成27年度 延べ62人	数値	[おはなしボランティア数] 延べ63人 【目標達成率】96.9% <図書館コメント> 平成28年度は活動の無い団体もあり、目標達成には至らなかった。	A		「おはなしボランティアを増やす」目標に対しては、ほぼ達成されています。また、おはなしボランティアへのアンケートを実施し、ボランティア団体の一覧表を作成したことは、本年度の成果と判断します。 【意見】ボランティア団体の横のつながり(ネットワーク化)のためには、一覧表を有効に活用することが必要です。例えば、プライバシーに配慮しつつ各団体の了承のもと、閲覧を可能にすることや図書館ホームページへの公開を要望します。それとともに、各学校へ情報を提供し、学校とボランティア団体との連携が可能なように要望します。
		2 おはなしボランティアグループのネットワーク化を推進	継続	<ul style="list-style-type: none"> 前年度把握したおはなしボランティアにアンケートを送付し、市内おはなしボランティアの一覧を作成する。 	記述	市内ボランティア団体にアンケートを送付し、ボランティアグループのネットワークづくりと図書館事業への協力を呼びかけた。返送があったボランティア団体については一覧表を作成した。	A		
		3 視力障害がある人を対象にしたボランティアとの協働を推進	継続	<ul style="list-style-type: none"> 基本目標1-4-2で回答(p4) 					
		4 宅配サービスを推進	継続	<ul style="list-style-type: none"> 基本目標1-4-3で回答(p4) 					

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A: 計画通り実施し、一定の成果があった。 B: 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。

C: 不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -: 次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成28年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
【基本目標4】家庭・地域・学校の教育力の向上を支え、読書の大切さを発信する図書館									
14 家庭・地域・学校に読書の大切さを発信します									
		1 おはなしボランティアグループと協働で読書の大切さを発信	継続	・おはなしボランティアとの協働での活動を推進する。 [指 標] おはなし会の実施回数 [目標値] 前年度と同程度 [参 考] 平成27年度 101回	数値	[おはなし会の実施回数] 99回 【目標達成率】98.0% <図書館コメント> 活動の推進により、概ね前年度と同程度実施することができた。	A		目標値をおおむね達成することができました。事業目標別にみますと、「おはなしボランティアとの協働での活動を推進する」では、おはなし会を99回実施でき、成果がありました。市役所1階ロビーに「みにみにとしょかん」を設置し、貸出冊数400冊の目標を達成しました。また、「学校への広報活動の推進」でも、学校図書館司書の協力を得て、図書リストを作成していることは大いに評価できます。
		2 読書に関するグループや事業所などとの連携	新規	・市役所1階ロビーのキッズコーナー横に本棚「みにみにとしょかん」を設置する。 [指 標] みにみにとしょかんへの貸出冊数 [目標値] 400冊(年4回)	数値	[みにみにとしょかんへの貸出冊数] 401冊(年4回) 【目標達成率】100.3% <図書館コメント> 平成28年度開始事業。今後も貸出を継続し、定期的に図書の入れ替えを行う。	A	A	【意見】「みにみにとしょかん」の位置付けを、図書館としてどう考えているのか明確にする必要があります。
		3 学校への広報活動の推進	継続	・学校への広報活動の推進を図る。 [指 標] 図書館事業の広報活動の実施	記述	事業のお知らせやすいせん図書リスト・ブックレットを、市内小・中・高校の児童・生徒を対象に配布した。配布資料のうち、小学生向けやすいせん図書リスト及び中学生向けやすいせん図書ブックレットZANMAIについては、児童・生徒の要望に応えられるよう、図書選定において学校図書館司書にも協力をいただいた。今後も図書館事業について、積極的なPRを行う。	A		

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A: 計画通り実施し、一定の成果があった。 B: 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。

C: 不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -: 次年度以降計画予定。

基本 目標 施策	事業	区分 平成28年度事業目標	指標 取組結果	自己 評価	第三者 評価 第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
【基本目標4】家庭・地域・学校の教育力の向上を支え、読書の大切さを発信する図書館					
14 家庭・地域・学校に読書の大切さを発信します					
	4 図書館の利用を広げるための広報活動の推進	・図書館外への広報活動の推進を図る。 [指標] 図書館新着図書案内の発行、ホームページの更新 継続	[図書館新着図書案内の発行、ホームページの更新] 【新着案内発行回数】 中央図書館 12回(月1回) わかぎり図書館 12回(月1回) わかたけ図書館 11回(月1回) 武蔵野台図書館 33回(週1回または2週間に1回) 【ホームページのお知らせとイベントカレンダーを随時更新】 【中央図書館広報活動】 市内公民館・幼稚園・保育園、都内各区市町村立図書館等 に向け、ポスター・チラシの配布 ・『中高生向けすいせん図書ブックレットZANMAI』 ・『いろは新聞』 ・『小学生向けすいせん図書』 ・『はじめて出会う宮澤賢治』ポスター・チラシ ・『原画展』ポスター・チラシ ・『ちゅうおうとしゃかんこどもだより』 ・『中央図書館おはなし会のチラシ』 【わかぎり図書館広報活動】 ・回覧用『わかぎり新聞』発行 3回 【わかたけ図書館広報活動】 ・回覧用『わかたけニュース』発行 5回 【武蔵野台図書館広報活動】 ・子ども向け『むさしのだいだより』の配布 1回 ・回覧用『むさしのだいだより』発行 2回 市内諸施設や町内会、都内各区市町村立図書館等に向け 広報活動を行った。今後も利用の増加に繋がる積極的な 広報活動に努める。	A A	「図書館外への広報活動の推進」では、新着図書案内の発行やホームページの随時更新を行い、目標を達成出来ました。ここでは14頁の事業評価と併せて評価Aとしています。 【意見】1ページの意見と同様になりますが、広報物・発行物をウェブサイト上に公開し多くの市民が見られるように改善を望みます。また、中央図書館の広報活動として、仮称「中央図書館ニュース」を発行することを求めます。

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A: 計画通り実施し、一定の成果があった。 B: 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。

C: 不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -: 次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成28年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
【基本目標5】地域資料の充実を図り、地域文化の継承と創造に寄与する図書館									
15 デジタル資料を含めた地域資料の収集と提供を進めます									
		1 福生市に関する資料の収集の徹底	継続	■基本目標1-1-1で回答(p1)					「福生市に関する資料の収集の徹底」では、「基本目標1-1-1」にある「福生市に関する資料を充実させる」との目標を達成しています。また、「基本目標3-11-2」においても、「地域資料のデジタル化」の目標達成率は100%でした。「福生に関するテーマリストの追加では、目標を下回りましたが、図書館協議会としては、目標達成率が70%を超えていますので、全体の評価をBとします。
		2 地域に関する資料のデジタル化の推進	継続	■基本目標3-11-2で回答(p10)				B	
		3 地域資料の調査・研究の相談、支援の充実	継続	・ホームページの地域資料コーナーの充実を図り、福生に関するテーマリストを作成・追加し、提供する。 [指標] 福生に関するテーマリスト追加件数 [目標値] 前年度と同程度 [参考] 平成27年度 4件	数値	[福生に関するテーマリスト追加件数] 3件 「福生の酒蔵」 「福生の中のアメリカ」 「福生と文学」 【目標達成率】75.0% <図書館コメント> 平成27年度の目標値に達することが出来なかった。平成29年度は目標である4件のテーマを追加していくように努める。		C	【意見】福生に関するテーマリストに、自然の分野として、「ホタルまつり」を加えてホタルの育成を市民に伝えることを提案します。

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A: 計画通り実施し、一定の成果があった。 B: 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。

C: 不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -: 次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成28年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
【基本目標5】地域資料の充実を図り、地域文化の継承と創造に寄与する図書館									
16 行政機関・議会への資料・情報提供を進めます									
		1 行政機関サービスの充実	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・市内貸出サービスを継続する。 [指標] 市内貸出点数 [目標値] 前年度と同程度 [参考] 平成27年度 3,755点	数値	[市内貸出点数] 2,900点 【目標達成率】 77.2% <図書館コメント> 利用率の減少した原因について分析し、PR等で利用向上に努める。	C	B	「市内貸出サービス」では、目標とする貸出点数が2,900点(目標達成率77.2%)でした。また、「行政レファレンスサービス」についても、26件(目標達成率74.2%)でした。図書館協議会としては、目標達成率が70%を超えていますので、全体の評価をBとします。
		2 議会図書室との連携・協力	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・行政レファレンスサービスを継続して行う。 [指標] 行政レファレンスの件数 [目標値] 前年度と同程度 [参考] 平成27年度 35件	数値	[行政レファレンスの件数] 26件 【目標達成率】 74.3% <図書館コメント> 利用率の減少した原因について分析し、PR等で利用向上に努める。	C		

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A: 計画通り実施し、一定の成果があった。 B: 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。

C: 不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -: 次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成28年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
【基本目標6】長期的な視点にたった図書館運営を行い成長する図書館									
		1 「福生市人材育成基本方針」に基づく専門的職員の育成	継続	・人事異動時に有資格者の配置を図る。 [指標] 有資格者の割合 [目標値] 100% [参考] 平成27年度 52.9% (平成27年4月1日:17人中9人)	数値	[有資格者の割合] 52.9%(平成28年4月1日:17人中9人) 【目標達成率】52.9 % ＜図書館コメント＞ 人事異動の結果、有資格者の増加はなかった。有資格者の必要性について、今後も働き掛けを行う。	C	A	ここでは、長期的な図書館運営を行い、図書館の成長を目標としています。特に「福生市人材育成基本方針」に基づく専門的職員の育成」では、有資格者割合の目標達成率が52.9%となっていて、図書館協議会としても注視する点を考えます。その他の項目は「A」評価と認めますので、全体として「A」評価とします。 【意見】引き続き、「福生市人材育成基本方針」に基づき、一定程度の司書有資格者を配置するように取り組んでください。
		2 職員の内外の研修への参加	継続	・図書館関係の研修に参加する。 [指標] 研修参加件数・人数 [目標値] 前年度と同程度 [参考] 平成27年度 研修参加件数 23件 参加人数 延べ36人	数値	[研修参加件数・人数] 研修参加件数 27件、参加人数延べ36人 【目標達成率】参加件数 117.4% 参加人数 100% ＜図書館コメント＞ 東京都立図書館主催の研修(児童・レファレンスなど)、多摩地域公立図書館大会、障がい者サービス研修等に参加した。	A		
		3 図書館運営の自己点検・評価の実施	継続	・平成27年度図書館運営の自己点検・評価を実施する。	記述	「福生市立図書館基本計画」の基本計画に沿って、自己点検・評価を実施した。	A		
		4 図書館協議会等による第三者評価の実施	継続	・平成27年度図書館運営の自己点検結果を基に、福生市図書館協議会により第三者評価を実施する。	記述	図書館協議会による第三者評価を実施した。	A		
		5 市民への公表	継続	・平成27年度の自己点検評価及び第三者評価表を作成し、市民に公表する。	記述	「平成27年度福生市立図書館基本計画点検評価表」を作成し、ホームページ等で市民に公表した。	A		

成果指標

	指 標	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	目 標	目標年度	備 考
1	市民一人当たりの貸出冊数（本・雑誌）	10.8冊	10.8冊	10.0冊	10.5冊	10.0冊			12冊	平成30年度	
2	市民一人当たりの貸出点数（視聴覚）	0.7点	0.74点	0.69点	0.68点	0.63点			1.1点	平成30年度	
3	登録者率	23.1%	23.6%	20.4%	21.9%	21.8%			30%	平成30年度	
4	大活字本の所蔵冊数	1,370冊	1,395冊	1,395冊	1,557冊	1,669冊			2,000冊	平成30年度	
5	高齢者ボランティアの登録人数 （児童関連を除く）	2人	2人	3人	3人	3人			5人	平成30年度	
6	CDの所蔵点数	8,754枚	8,843枚	8,924枚	9,077枚	9,281枚			11,000枚	平成30年度	
7	DVDの所蔵点数	663枚	748枚	840枚	920枚	1,033枚			1,500枚	平成30年度	
8	ビジネス・しごと支援コーナーの貸出冊数	13,085冊	12,533冊	11,033冊	10,880冊	11,201冊			20,000冊	平成30年度	※武蔵野台図書館分を含む
9	ホームページのアクセス回数	103,000件	155,062件	195,789件	212,520件	208,083件			150,000件	平成30年度	※従来は図書館トップページのみ の計測だったが、26年度からは図 書館全コンテンツのページを合計
10	学校への調べ学習支援冊数	276冊	236冊	736冊	988冊	402冊			600冊	平成30年度	
11	福生市に関する図書所蔵数	10,141冊	10,425冊	10,984冊	11,783冊	12,407冊			15,000冊	平成30年度	
12	自己点検・評価	未実施	未実施	未実施	実施	実施			実 施	平成27年度	
13	第三者評価	未実施	未実施	未実施	実施	実施			実 施	平成27年度	
14	市民への公表	未実施	未実施	未実施	実施	実施			実 施	平成27年度	